

第6回「平成12年」通常総会
TDA・ミレニアム2000記念シンポジウム

■パネルディスカッション

- ◎テーマ……「テキスタイルに明日はあるのか、デザイナーは何をするべきか」
◎パネラー……大森克夫（(株)インテリア・リド代表） 中川清隆（赤川英（株）取締役部長） 滝口洋子（アパレルデザイン・京都市立芸大講師） 朝比奈由起子（オフィス「5 Lira」代表・ライフスタイルグッズプロデューサー）
◎コーディネーター……近沢晴雄（(株)スミノエインテリアプラザ代表）



近沢氏

近 沢…1990年代は、「失われた10年＝空白の10年」と表現される。これは日本がバブルの後始末に追われ長い不況のトンネルに入ったことを意味します。しかし我々は21世紀に向けてトンネルの先に明かりを見出したいと思います。

朝比奈…自己紹介を兼ねてオフィスでのデザインとの関わり方、考え方等をお話下さいました。女性だけのスタッフで17年間続けてこられたのは、女性のハンディーをグループ化し、そのパワーでハンディーを乗り越え、消費者の目でモノを見られる点の特徴・ウリに色々な分野で企画・デザインを行っているというお話でした。

滝 口…自己紹介を兼ねてご自身がやっています仕事内容をお話下さいました。大学での講師としての一面と、アパレルデザイナーとして素材開発から企画・デザインをし、また小売店等、様々な分野のごく身近なモノの企画開発を行っているというお話でした。

近 沢…以前は、フリーのデザイナーにしる、企業のインハウスデザイナーにしる、デザイナーの顔がみえていましたが、現在は見えていません。埋没してしまっているのです。何が問題なのでしょうか。

大 森…インテリア業界の経営者は、デザイナーに対する思いがなさすぎます。かつては、ある程度デザイナーに任せてくれていたが、ここ数年売り上げ・利益・営業優先のためデザイナーの顔が見えないのでは…この問題は、経営者にも責任が有り、デザイナーにも責任が有るのではないのでしょうか。

近 沢…最近マーケティングの無いデザインは売れないと言われています。マーケティング力のある企業が、突出した面白いデザイン・モノがあるかと言うとそうでもないのが現状です。話しはわかりますが、この度同族以外で取締役になられた中川氏にアパレルの現状をお願いします。

中 川…現在、色々なブランドを展開・開発し東京で商売をしていますが、現場はやはり東京です。アパレル商品は、ギャンプルと同じです。それから、アパレル業界は色々な面で大変なところ。そう言う意味で本当にアパレルが好きでないと動まりません。それは、3年で解ります。でないと30年は動まりません。

近 沢…朝比奈さんは、女性スタッフだけで長い間お仕事をやってこられたうえに、大学で講師をやっているらしいですが、その秘訣は何なのでしょう。

朝比奈…長い間やってこれたのは、この仕事が好きだったからです。また、大学の方は、学生と接していて大変楽しいし、仕事と主人のことも忘れてしまいます。

近 沢…朝比奈さんは、ライフスタイルグッズ・プロデューサーと言う、お仕事をなさっていますが、最近のお仕事の流れ中身等、お話をお聞かせ下さい。

朝比奈…ホームセンター・メインの時もあり、デパートの時もありました。そこには時代の変化があります。通販の仕事で言いますと、自分が消費者と言う気持ちでプランニングをします。売れたか売れなかったのか、即数字が見えるのも通販の特徴、生活関連グッズもスピードが速くなっている。展示会のダミーのチェック・カタログ・箱入れ・糊割り・通販ならページネーション等、最終までのアドバイスをしています。

近 沢…中川さん、最近のお仕事の流れ中身等をお聞かせ下さい。

中 川…渋谷109の様にトータルな売り場づくり、解り易いお店づくりは当然続きます。これらを支えるには、才能あるデザイナーとデベロッパーの理解、若い経営者の三味一体でないと難しい面があります。

近 沢…現在東南アジアからは、すそモノ商品が輸入され、ヨーロッパ・アメリカからは、デザイン力/品質/価格面でもすぐれた商品輸入されています。一方、日本から海外へ進出している無印良品、ユニクロ等がありますが、日本はこれから海外に進出できるのでしょうか。

中 川…関税の問題とありますが、日本のニットは品質/デザイン面で海外進出は、可能なのではないのでしょうか。

大 森…インテリアは労働集約的な面が強いので、日本で生産されたモノでは国際的にみて競争力は無いと思います。東南アジアを基地に発展、進出し生産すれば国際競争にも勝てるのではないのでしょうか。勿論ファッション性・デザイン性は、大変重要なポジション・ポイントになるでしょう。

近 沢…インテリア産業は、住宅着工数で売り上げが左右されてきました。景気がいい時の着工数は、130万～150万戸程。現在は110万戸まで落ちています。一方、ストック住宅は4,500万戸以上あります。カーテンの掛け替えを考えた時リフォームの需要は、これから大変大きな問題になるのではないのでしょうか。

大 森…現在建設省は、100年住宅構想を進めています。そうしますと、既存の内装とは違った、新たな内装・インテリアをどうするかと言う問題が生まれています。生活様式の変化流通の変化は、インテリア業界にとってもっと楽しいインテリア提案の場になるとと思います。



朝比奈氏



滝口氏



大森氏



中川氏